

令和元年度(2019年度)

管理事業名	公民館事業				総合計画の体系	大綱 4 政策 4 施策 2	子育て・学び 生涯にわたり学べるまちづくり 生涯学習環境の整備
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 10	教育費	(項) 5	社会教育費	(目) 3	公民館費
部局名	地域教育部	予算執行所屬	まなびの支援課				
予算大事業名 公民館事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)教育費(項)社会教育費(目)公民館改修費 公民館事業 (款)教育費(項)社会教育費(目)北千里小学校跡地複合施設建設費 公民館事業						
事業の目的と概要 市民に地区公民館(29館及び1分館)を身近な生涯学習の場として安全・快適に利用してもらえるよう施設の維持管理を行います。 市民の自主的な学習・文化活動の支援を行うとともに、高齢化問題や防災等の現代的課題講座及び地域住民の学習ニーズに対応した主催講座を実施し、市民に学習機会を提供します。 地域文化の振興と市民の生涯学習に対する意欲の高揚、地域住民の親睦を図るため、29地区において地区公民館文化祭実行委員会が開催する地区公民館文化祭事業について補助を行います。 老朽化した公民館について、年次的に改修を実施し、安心・安全でバリアフリー対策を考慮したより良い施設づくりを推進します。							

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	成果指標の定義
施設利用者数 (主催講座除く)	人	339,239	334,131	314,213	地区公民館の貸出施設の利用者数
主催講座参加者数	人	57,431	51,706	42,499	地区公民館主催講座事業の参加者数
主催講座開催回数	回	1,984	1,859	1,666	地区公民館主催講座事業の開催回数
文化祭来館者数	人	37,441	37,843	40,047	地区公民館文化祭事業来館者数

成果の説明
平成26年度から、高齢化問題や防災等の現代的課題講座に加え、専門的な知識を持った市職員を活用した講座の企画に力を入れるなど、公民館における主催講座内容の充実に向けてありますが、令和元年度は新型コロナウイルス感染症対策により2月下旬以降の講座は中止、3月以降施設を休館し貸館を休止したこと等の影響があり、前年より講座の開催回数・参加者数、施設利用者数が減少しました。当面、感染症対策を講じながら館を運営していくことが課題となっています。地区公民館の改修事業では、老朽化に対応した維持補修工事等として、山二地区公民館の屋上防水工事を実施しました。また、他の公民館についても施設の状況に応じ、各種の修繕を行うことにより、安心安全で高齢者や障がい者にやさしい生涯学習施設の整備・充実に取り組みました。

II 財務情報

◆行政コスト計算書

勘定科目	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	2,001	2,820	2,116	△703
経常収入 小計(a)	2,001	2,820	2,116	△703
給与関係費	83,240	96,245	96,808	563
物件費	132,881	143,741	176,434	32,693
維持補修費	59,759	32,331	16,226	△16,105
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	27,793	17,979	16,567	△1,411
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	52,090	59,101	68,457	9,357
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	3,509	4,963	5,007	43
退職手当引当金繰入額	5,757	17,841	1,214	△16,627
支払利息	7,478	7,091	6,713	△378
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	372,507	379,291	387,426	8,134
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△370,506	△376,472	△385,309	△8,838
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	389	-	-	-
特別収入 小計(d)	389	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別費用 特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	389	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△370,117	△376,472	△385,309	△8,838
一般財源充当額	389,957	705,920	367,496	△338,424
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	19,840	329,448	△17,814	△347,262

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
物件費	32,693千円増のうち、主に北千里小学校跡地複合施設整備事業関係費用(委託料) 16,692千円 旧山手地区公民館解体費用(委託料・工事請負費) 23,004千円
維持補修費	令和元年度16,226千円のうち山二地区公民館屋上防水工事 5,090千円 各地区公民館修繕 11,136千円 減少分は主に平成30年度の新築・大規模改修のうち維持補修にあたる費用
負担金・補助金・交付金等	1,411千円減のうち、主に新型コロナウイルス感染症対策による主催講座の中止により講師謝礼(報償費)1,239千円減、江坂大池地区公民館大規模改修(平成30年度)の仮事務室負担金分180千円減

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	2,001	2,820	2,116	△703
行政サービス活動支出	317,796	308,195	322,118	15,922
行政サービス活動収支差額	△315,795	△303,376	△320,001	△16,626
投資活動収入	389	-	-	-
投資活動支出	63,859	357,293	-	△357,293
投資活動収支差額	△63,470	△357,293	-	△357,293
財務活動収入	34,600	180	-	△180
財務活動支出	45,291	45,431	47,494	2,064
財務活動収支差額	△10,691	△45,250	△47,494	△2,244
収支差額 合計	△389,957	△705,920	△367,496	338,424
一般財源充当額	389,957	705,920	367,496	△338,424
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(投資活動支出)吹田南地区公民館新築、山手地区公民館新築、江坂大池地区公民館大規模改修の各事業終了により令和元年度は支出なし
----------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
利用者1人あたりコスト	平成29年度	434,111 人	858 円	地区公民館利用者1人あたり976円のコストがかかっています。経常費用の増加、利用者の減少により、前年に比べて81円増加しました。
	平成30年度	423,680 人	895 円	
	令和元年度	396,759 人	976 円	
	平成29年度		円	
	平成30年度		円	
	令和元年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	52,457	54,585	2,128
未収金	-	-	-	地方債	26,588	28,673	2,085
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	4,963	5,007	43
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	20,906	20,906	-
有形固定資産	3,539,518	3,471,583	△67,935	固定負債	535,435	482,663	△52,771
土地	2,004,435	2,004,435	-	地方債	234,042	205,370	△28,673
建物・工作物	1,535,082	1,467,147	△67,935	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	50,519	47,326	△3,193
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	4,227	4,037	△191	その他固定負債	250,874	229,967	△20,906
有形固定資産	-	-	-	負債の部合計	587,892	537,249	△50,643
土地	-	-	-	純資産	2,960,684	2,942,871	△17,814
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	4,831	4,500	△331				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	3,548,576	3,480,119	△68,457	負債及び純資産の部合計	3,548,576	3,480,119	△68,457

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

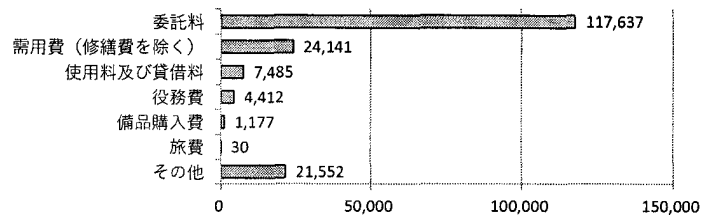
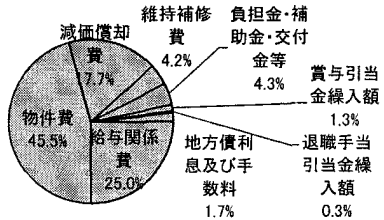
事業従事人数	常勤・再任用		非常勤	臨時雇員 年間従事証日数	審議会委員等 実人数
	月平均	月平均			
	7.6人	29人			451人
給与関係費等	63,950千円	20,497千円			18,582千円
内、時間外勤務手当	3,175千円				
					合計(千円) 103,028

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	減価償却費67,935千円の減
その他固定負債	千里ニュータウンプラザPFI事業で取得した公有財産の債務返済による減

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹一地区公民館ほか29施設
取得年月日	昭和36年12月13日(吹一地区公民館ほか)
建物・工作物の取得価額	2,723,253 千円
建物・工作物の減価償却累計額	1,256,106 千円
利用料金収入	- 千円

▽分析指標

分析指標	(単位:%)				
	年度	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率		2.6	1.2	0.6	△0.6
施設老朽化比率		49.2	43.6	46.1	2.5
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		91.3	99.6	99.4	△0.2
経常費用対公共資産比率		16.2	13.9	14.2	0.3

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.0%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主なものにつきましては、物件費176,434千円(45.5%)、給与関係費96,808千円(25.0%)、負担金・補助及び交付金16,567千円(4.3%)となっています。物件費の主な内訳としては、地区公民館管理業務等委託料が66.7%、光熱水費等の需用費が13.7%を占めています。令和元年度地区公民館全体の老朽化比率は、平成30年度に比べ2.5ポイント増えました。個々の公民館の老朽化比率の平均は61.4%(平成20年度以降に建替えを行った6地区公民館を除いた個別の老朽化比率の平均は73.2%)となり、建替や改修工事を数館実施しているものの、市保有施設全体の老朽化比率57.0%と比較して老朽化が進んでいる施設が多数を占めています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

事業コストの45.5%を委託料や光熱水費等で構成される物件費が占めていますが、地区公民館の窓口受付業務、清掃業務や各種保守点検業務等、地区公民館を安全・良好な状態で維持し市民へ提供するためには、必要な経費であると考えています。事業コストの4.3%を負担金・補助・交付金が占め、その内、53.0%を主催講座講師謝礼金が占めています。引き続き専門的な知識を持った市職員を活用して、気軽に行うことのできるストレッチ体操や、地域の歴史といった講座を展開し、限りある講師謝礼金を有効に活用していきたいと考えています。社会教育施設としての公民館の役割を果たすため、多様化する現代的な課題や社会的課題をテーマにした講座に取り組むと共に、講座を企画する企画運営委員への研修や情報提供を充実させ、市民にとってより魅力的な講座が提供できるようサポートしていきたいと考えています。事業コストの4.2%を各地区公民館の修繕を実施したため維持補修費が占めています。また、老朽化に対応した移転建替や維持補修工事の実施を進め、施設の長寿命化に努めているところですが、建替や改修工事を行っていない公民館については、依然老朽化が進行しており、経年劣化が原因による修繕維持補修(雨漏り修繕・外壁補修)等に関するコストが今後も増加することが予測されます。維持補修等にかかる経費をできるだけ平準化するために維持補修計画を立て、計画的に予算確保を行い、適切な時期に維持補修等を実施していくことが必要と考えています。北千里地区公民館については、「北千里小学校跡地複合施設建設整備基本計画」をまとめ、令和4年度開館を目指し、整備を進めています。